

古典文学特論Ⅱ A(中古)

選択 2単位

菅原 正子

1. 授業の概要(ねらい)

この演習では、日本の平安～戦国時代の服飾や文化に関する論文や史料を読み、史料の読み方を学ぶとともに、特定の課題についての調べ方を身につける。各人は興味を持った事から課題を設定し、先行研究・史料等のデータを収集して調べ、それらの結果を各自で口頭発表し、皆で討論をする。

2. 授業の到達目標

- ・日本の平安～戦国時代の史料を読みとることができる。
- ・研究課題にそって先行研究・史料等のデータを集め、それらを分析して結果を導き出すことができる。
- ・研究結果を人々が聴いて理解できるように発表することができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末レポート40%

発表内容30%

授業態度30%

※合計点が100点満点で60点以上が合格(単位取得)

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用せず、取り上げる史料は皆と相談して決めてプリントで配付する。

参考文献

参考文献は適宜指摘する。

5. 準備学修の内容

- ・史料のプリントは前もって配布するので、授業の前に目を通しておくこと。
- ・個別発表は各人の興味に従って課題を設定するので、日頃から日本の文化や服飾に関心を持って接すること。

6. その他履修上の注意事項

- ・史料を読むのと個別発表の配分は、参加人数により変更する場合がある。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 自己紹介・発表の割り当てなど
- 【第3回】 論文と資料・史料について
- 【第4回】 図書館ガイダンス(授業回が前後することがある)
- 【第5回】 史料の読み方
- 【第6回】 史料を読む①
- 【第7回】 史料を読む②
- 【第8回】 史料を読む③
- 【第9回】 史料を読む④
- 【第10回】 学生の個別発表①
- 【第11回】 学生の個別発表②
- 【第12回】 学生の個別発表③
- 【第13回】 学生の個別発表④
- 【第14回】 学生の個別発表⑤
- 【第15回】 まとめ